

23-02

2023年1月26日

【鉄道業界初】車両の3Dモデリングデータを NFT として販売

実物に忠実な鉄道車両の 3D モデリングデータを NFT で販売します！

有楽町線・副都心線 7000 系の引退を記念し、Adam byGMO で 1 月 31 日販売開始

東京地下鉄株式会社（本社：東京都台東区、代表取締役社長：山村 明義、以下「東京メトロ」）は、株式会社ホロラボ（本社：東京都品川区、代表取締役：中村 薫、以下「ホロラボ」）と協業し、実際の鉄道車両を忠実に再現した 3D モデリングデータを NFT（Non-Fungible Token:非代替性トークン）として、Adam byGMO (<https://adam.jp/>) にて 2023 年 1 月 31 日（火）14 時から数量限定で販売します。併せて、東京メトロ 9 路線の代表する車両を記録した NFT トレーディングカードが抽選で当たる無料のプレゼント企画も 1 月 27 日（金）12 時から実施します。

この度、鉄道車両を忠実に再現した 3D モデリングデータを、ホロラボが保有するレーザー स्क্যানとフォトグラメトリの技術を用いて NFT 用にリバイスし、Adam byGMO にて販売します。また、ご購入いただいた方は Adam byGMO の所有者限定コンテンツとしてフルデータもお楽しみいただけます。2022 年 4 月まで約 48 年間走り続けた有楽町線・副都心線 7000 系車両の引退を記念して、東京メトロバージョンと営業運転開始時の営団地下鉄バージョンを用意し、それぞれの企業ロゴや車体側面ラインカラー等を忠実に再現しており、東京メトロバージョンは 2,700 円で 1,000 個、営団地下鉄バージョンはオークション形式で限定 1 個を販売します。

本データは実際の写真を基に制作しているため、普段は見ることのできない車両の屋根や底面等もリアルな質感を感じられるとともに、所有者限定コンテンツはより高精細に運転室内等の車内も再現されて VR 等を用いて実際に車両に乗っているような体験もでき、無機質な 3D データでは得られない新たな楽しみ方が可能となっています。鉄道ファンの皆様を中心に、新たなコレクションとしてお楽しみいただけるほか、NFT として、Adam byGMO のマーケットでの個人間売買も可能です。

NFT の技術を活用することで、当社の貴重なデータを「世界にひとつのデジタルデータ」としてお客様にお届けできるようになりました。本事業を通して、鉄道ファンの方々を中心に、お客様に喜んでいただけるデジタルデータを販売し、お客様のニーズに合わせた新たな魅力、価値を提供してまいります。詳細につきましては、別紙のとおりです。



有楽町線・副都心線 7000 系 3D モデリングデータの NFT 販売 詳細

1 「有楽町線・副都心線 7000 系 3D モデリングデータ NFT」について

現存する最後の有楽町線・副都心線 7000 系を、ホロラボが保有するレーザースキャンとフォトグラメトリの技術で 3D モデリングデータを制作し、快適な WEB 表示を行えるようリバイスしたものを NFT^{*1} として販売いたします。

ご購入いただいた方は Adam byGMO の保有者限定コンテンツとして、3D モデリングデータのフルデータを見ることができ、Adam byGMO の公式スマホアプリにおいて AR 機能でもお楽しみいただけます。

^{*1} NFT (Non-Fungible Token : 非代替性トークン) : ブロックチェーン内に代替性のない固有の権利を持つ ID と発行者情報、保有者情報等を記録し、映像・写真・音等のデジタルデータの唯一性、固有性を証明するのに加え、移転追跡可能なプログラムを活用してクリエイター及び保有者が二次流通以降の収益も上げられる仕組み。

2 販売対象

車体の企業ロゴ、車両側面のライン色が異なる有楽町線 7000 系の東京メトロバージョンと営団地下鉄バージョンがあり、それぞれの販売金額、販売個数、販売開始時期は以下のとおりです。また、保有者限定コンテンツは、高画質（フルデータ）、中画質、低画質をセットいたしますので、お使いの PC のスペックに合わせて 3D 閲覧ソフトでお楽しみください。

(1) 有楽町線・副都心線 7000 系 3D モデリングデータ 東京メトロバージョン

- ①データ形式等
 - ・ NFT 約 4Mb (glb)
 - ・ 保有者限定コンテンツ (glb)
 - 高画質（フルデータ）、中画質、低画質
- ②販売数・販売金額
1,000 個販売（ひとつ 2,700 円）
- ③販売開始時期
2023 年 1 月 31 日（火）12:00～



(2) 有楽町線 7000 系 3D モデリングデータ 営団地下鉄バージョン

- ①データ形式等
 - ・ NFT 約 4Mb (glb)
 - ・ 保有者限定コンテンツ (glb)
 - 高画質（フルデータ）、中画質、低画質
- ②販売数・販売金額
限定 1 個をオークション形式で販売（開始金額 7,000 円）
- ③販売開始時期
2023 年 1 月 31 日（火）12:00～



3 購入方法

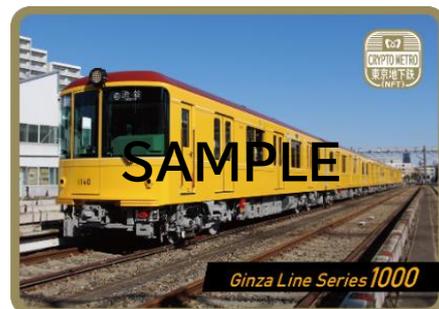
Adam byGMO (<https://adam.jp/>) にてご登録のうえ、クレジットカード、銀行振込、楽天ペイの決済手段により日本円でご購入いただけます。仮想通貨による決済はできません。

4 NFT トレーディングカード無料プレゼント企画（抽選）

2023 年 1 月 27 日（金）12:00^{*1} から無料のプレゼント NFT 抽選企画を実施します。

東京メトロ公式 Twitter に記載の、Adam byGMO 内のプレゼント企画ホームページより、Adam byGMO へのご登録とプレゼント抽選のお申込みをいただき、ご当選された方には、東京メトロ全 9 路線の車両をデザインした NFT トレーディングカードを 1 枚（各車両 100 個、合計 900 個）をプレゼントいたします。

^{*1} 日程が変更になる場合がございます。予めご了承ください。



NFT トレーディングカード
イメージ

5 有楽町線・副都心線 7000 系車両概要

有楽町線の開業に際し、当時の最新技術を採用して 1974 年に運用を開始、車体側面に有楽町線のラインカラーであるゴールドを配していました。電機子チョッパ制御を採用し、モーターに流れる電流を短時間で入り切りして走行速度を調整可能にしたほか、ブレーキをかけた際にモーターが発電した電気を架線に戻し、加速中の他列車に電気を送ることで効率的なブレーキ力を得る電力回生ブレーキも導入するなど、当時においても走行性能や省エネルギー性能を高めていました。さらに 1997 年には VVVF インバータ制御に変更するなど一層省エネ性を高め、2008 年の副都心線開業に合わせてブラウン・ゴールド・ホワイトのラインカラーにする等リニューアルを経ながら、2022 年 4 月の営業運転終了まで、約 48 年間走り続けました。

今回販売する NFT では、引退後唯一残っている 7000 系車両を撮影し、実物に忠実な 3D モデリングデータを制作しました。

6 NFT アートプロジェクト「CRYPTO METRO」概要

当社が保有する貴重なデータを歴史的に価値のあるアーカイブデータとして残り、将来に繋げることを目的に、NFT 技術を活用した、NFT データやアート等の販売事業を「CRYPTO METRO」(クリプトメトロ)として名付け、今後積極的に取り組んで参ります。



「CRYPTO METRO」ロゴ

7 株式会社ホロラボ概要

ホロラボは、AR/MR/VR や各種センサー技術をはじめ、BIM/3D 都市モデル/フォトグラメトリ&レーザースキャンなどの空間デジタルデータ技術や測位技術を組み合わせ、リアルとバーチャルを繋ぐ体験作りを行う技術者集団です。

【株式会社ホロラボ】(URL:<https://hololab.co.jp/>)

会社名	株式会社ホロラボ(HoloLab Inc.)
所在地	東京都品川区西五反田 2-25-1
代表者	中村薫(代表取締役 CEO)
資本金	93,940,000 円



8 Adam byGMO 概要

【GMO アダム株式会社】(URL:<https://adam.jp/>)

会社名	GMO アダム株式会社
所在地	東京都渋谷区道玄坂一丁目 2 番 3 号 渋谷フクラス
代表者	代表取締役 熊谷 正寿 代表取締役 高島 秀行
事業内容	■NFT マーケットプレイスの提供 ■ブロックチェーン技術を使用したコンテンツの管理等
資本金	474,575,000 円

